

あなたの周りにこんな事が起きていませんか？

気になる様子のチェックリスト

高齢者の様子

- 不自然な怪我をしていることがある。
- 「家にいたくない」「殴られる」と言う。
- 極端におびえたり、怖がったりする。
- 強い無力感やあきらめ、投げやりな様子がある。
- 不自然な体重減少や、空腹を訴えることが増えてきている。
- 他人の関与を必要以上に拒絶する。
- 「お金や通帳を盗られた」と言うことが多い。
- 汚れたままの服装や、悪臭の強い状態で過ごしている。
- 昼夜問わず、長時間徘徊する姿が見られる。

養護者の様子

- 介護疲れや疾病等で、つらそうな様子が見られる。
- 高齢者を怒鳴っている声や、物を投げる音、叩く音など気になる音が聞こえる。
- 高齢者に乱暴な言葉かけや、ののしるような言動が見られる。
- 高齢者に対して冷淡な言動や無関心な様子、支配的な言動がある。
- 他人の関与を必要以上に拒絶する。
- 高齢者の事を「殺してしまうかもしれない」と話す。
- 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対して、お金をかけようとならない。

が付いた項目が多いほど、**虐待の可能性が高い状態**です。

虐待を受けたと思われる高齢者を発見した方は、**「地域包括支援センター」**、**「区役所健康福祉課」** や **「地域保健福祉センター」** までご相談・ご連絡ください。

※連絡先は別紙折込チラシをご覧ください。

生命や身体に重大な危険がある場合は、通報は義務とされています。ご連絡をいただいた方のお名前が、周囲に漏れることはありません。安心してご相談・ご連絡ください。

虐待を行った養護者＝“悪者”というわけではありません

適切な介護の仕方や認知症への対応がわからないために、つい手を上げてしまう。介護負担に加え失業中で経済的に困っている……など、高齢者虐待の背景には様々な要因があります。そのため、介護保険サービス等の利用を通じて、高齢者だけではなく、養護者も支援することが必要です。

高齢者虐待は身近に起こりうる問題です。だからこそ、皆が自分自身の問題としてとらえ、虐待が起こらないよう、地域全体で支え合っていくことが大切です。



- 介護保険や福祉サービスの利用
- 周囲からの協力
- 近所の人とのつながり 等

地域全体で見守り、支えていくことが重要

高齢者虐待は、特別な家庭のみに起きるのではなく、どこの家庭にも起こりうる身近な問題です。



周りの人からの気軽な声かけや、ちょっとした変化への気づきにより、高齢者の尊厳は守られ、悲しい事態を避けられる可能性があります。

高齢者虐待を防止するためには、地域全体で高齢者と養護者を見守り、当事者が周囲に救いを求めることができる環境づくりが大切です。

「養護者」とは？

食事や着替えなどのお手伝い、金銭や鍵の管理、病院への送り迎えなど、日頃何かしら高齢者のお世話をしている家族や親族などを指します。また、同居していなくても、現在身の回りのお世話をしている友人や知人などが当てはまる場合もあります。

このような行為は虐待です

【 身体的虐待 】

- ・殴る、蹴るなどの暴力
- ・無理やり食べ物を口に入れる
- ・鍵をかけて部屋から出さない
- ・ベッドにしばりつける 等



【 心理的虐待 】

- ・怒鳴る、ののしる
- ・侮辱を込めて子どものように扱う
- ・排泄の失敗を嘲笑する
- ・意図的に高齢者を無視する 等



【 性的虐待 】

- ・本人の嫌がる性的行為を強要する
- ・罰として下半身を出したままにする
- ・人前でオムツ交換をする 等



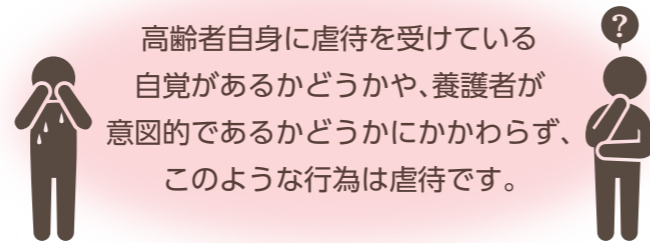
【 経済的虐待 】

- ・日常的に必要な金銭を渡さない、使わせない
- ・高齢者の年金や預貯金を無断で使う
- ・必要な介護や医療の費用を養護者が支払わない 等



【 介護放棄 】

- ・食事や水分を与えない
- ・非常に不衛生な状態のまま放置する
- ・必要な介護や医療を受けさせない 等



「セルフネグレクト(自己放任)」とは？

一人暮らしの高齢者が、認知症などにより、自らの状態を判断できず、自分の健康や生活を損なうまま放置している状態で、他の虐待と同様に周囲の支援が必要です。気になる高齢者を見かけた場合は、相談機関へご相談・ご連絡ください。



高齢者虐待の背景



介護の悩みをひとりで抱え込まないために

養護者の方へ

POINT 1 専門機関に相談



介護の悩みなどがあれば、地域包括支援センターなどに相談してみましよう。

POINT 2 介護仲間との交流



家族会などに参加することで、介護のポイントや役立つ情報が得られます。

POINT 3 周囲の協力



ご近所や知り合いの方に、協力を求めてみましょう。きっと力になってくれます。

POINT 4 サービスの活用



介護保険や福祉のサービスを利用して、介護負担を減らしましょう。

**介護離職を防いだり、
養護者自身の健康を維持するためにも早めに相談を!**